とかち新聞
主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話1351番
本紙購読料 一部25円 一カ月75円 一カ年前納750円

魚菜市場問題のその後

本別は五月に着工 難しい足寄分場

本別、足寄、陸別の三町と浦幌町の一部を区域とする本別魚菜卸し売り市場の移転新築にさいして、このさい三町の中心であり阿寒温泉地帯を控え、白糠線鉄道などで交通の要衝となる足寄町に魚菜卸し売り市場を開設しようとして、宿命の本別ー足寄対立の〃最新版〃としてそのなりゆきが注目されていましたが、中小市場統合のさなかだつたためにこれは時期が悪くものにならず、それでは帯広市場の分場誘致へと方針を変えたもののこれまた遅々としてすすまないうちにこのほど本別市場の建築について道の許可があつて近く入札の上五月から着工のはこびとなつたので、足寄分場の新設も難しくなりそうです。

『町民の大多数が要望するのであれば魚菜市場の認可は私が電話一本でとつてやる』という柴田十勝支庁長の激励のことばもあつたので小林町長としては見込みありとして、あとは町民の与論次第であるとして全戸にわたつて賛成署名運動に入れば町民として反対のあろう筈もなく、全町民の賛成にもとずいて市場開設の認可申請におよんだが年間の取扱い高が五億円以上でなければ市場としては認められないということで、現に本別市場が年間四億円に達しないのにその区域内にもうひとつの市場をつくらせては共倒れは必至で行政当局としては立地条件のよい足寄の申請を当然としながらも既存の本別市場の存在を無視することはできず、出先の支庁長のように軽々しく扱える問題ではなかつたようです。

ウロコ帯広魚菜卸し売り市場の足寄分場設置については、足寄の業者がどうしても本別市場へゆきたくないのなら帯広へいらつしやいということで、取引きの実績がつけば足寄に分場を設置しましようということで、同市場から分場設置の申請が出されれば道は認可するといつていますが、未だに申請は出ていないことで、それよりも足寄の業者が未だに帯広と取引きを開始していないことで、業者にすればものが生鮮食料品であるだけに遠く帯広まで仕入れにいつたのではその日の商売にはならないとして依然として本別市場に通つているので、このままの現状では帯広側としてはなにら取引きのない足寄に分場を設置するわけにはゆかないようです。

こうしているうちに本別市場の新築がすすめられてゆけばーこれは道や市場協会の指導協力によるものなのでーかりに足寄分場設置の申請が出されても上本別から車でわずか十五分程度の個所に認可されるかどうかー審議会にかけられても近接市場の同意が得られなければならないので、この分場設置は困難とみられています。

初の減給処分

本紙前号の「読者の室」に掲載の投書「これでよいのか」の足寄町教育委員会職員の事故について十日にひらかれた教育委員会において当該職員にたいして三カ月の減給処分としました

足寄町として「職員の懲戒の手続きおよび効果に関する条例」を摘用して職員を処分したのはこれがはじめてで、清水教育長から部下の監督不行届きの責任で同様に減給処分の申し出がありましたが、これは保留となりました。

この金銭事故は昨年四月ごろに表面化したが公金ではなく本人が弁償したので昇給停止の措置にとどめていたところ、十月になつて交通事故をおこしこの損害も弁償し本年になつて一万二千円の罰金刑が決定したので、それにともなつての行政処分となつたものです

これについて清水教育長は『町に実害はないが町職員の立場にあるので処分したが、罪を憎んで人を憎まずという教育的配慮で本人の将来のために措置した、この間町の有力者の介在などはない』といつています。

湯浅会長を再選

第一回農業委員会

改選後はじめての足寄町農業委員会は四月九日に役場大会議室に全委員が出席してひらかれました。

開会に先立ち川音事務局長の司会によつて小林町長から歓迎のあいさつ、全員の自己紹介があり、臨時議長に最年長の加藤熊次郎氏を推して議事に入り、抽せんによつて全員の議席を決定して会長の互選ついて

加藤議長 どのような方法で選ぶか

吉田委員 選挙をもつてやりたい

遠山委員 賛成だが、その前に湯浅前会長はよくやつて頂いたが変則である、選挙権は農民だけの特権であり、学識経験者としての委員は勅言者であつて、会長は選挙によつて選ばれた農民のなかから選ぶべきではないか

川音事務局長 法律的には選任委員でも選挙によつた委員でもよい

遠山委員 なぜ農民にだけ選挙権をあたえているか

川音事務局長 照会していないが委員の権限は同じである

などの論議があつて無記名投票の結果

湯浅義雄 一二票
斉藤祐一 三票
近藤悦朗 三票
岡 武 一票
加藤熊次郎 一票

で湯浅氏が当選して議長席につき会長代理については議長指名との動議によつて斉藤氏を推薦決定、ついで北海道農業会議の会議員については遠山委員が『これこそ農民代表を出したい』というのにたいして西村委員は『会長が任にあたつてほしい』と対立したため起立採決の結果、十二対七で会長兼任に決定したあとつぎのように各部会を構成しました。(◎印は部会長)

△調整部会 ◎近藤悦朗、畠 正吉、桑尾 宏、日置信一、松田数天、吉田吉之助

△開拓部会 ◎遠山 謙、加藤熊次郎、岡 武、中山 潔、菅原武雄、南岡政吉

△振興部会 ◎斉藤祐一、大塚正夫、西村啓一、相馬竹夫、清水秀雄、小松文雄、石井忠利

都市公園条例で管理

本別町

本別町には清流公園、中央公園、西青少年広場(いずれも北五丁目)本別公園(本別沢)など五つの公園がありますが、都市公園法にもとずいて今月から町条例によつて管理することになりましたが、その内容は

▲行為の制限 公園において行商、業としての写真、映画を撮影、興行、競技会展示会その他これに類する催しをする場合は申請書を提出して町長の許可をうけなければならない

▲使用料 行商その他は一日一平方㍍につき二十円、業としての写真の撮影は一台につき一カ月千円、一日百円、業として映画の撮影は一日につき八百円、興行は一平方㍍一日につき三十円、競技会、展示会その他は一平方㍍一カ月につき百円、一日五円

▲行為の禁止 公園施設を損傷し汚損すること、土地の形質を変更し土石を採取し竹木を伐採すること、鳥獣魚類を捕獲し殺傷すること、ごみその他汚物を捨てること、広告その他これに類するものを掲示し散布すること

などとなつています。

足寄町農協 では二十六日午前九時三十分から公民館大ホールで本年度通常総会をひらきます。

桜の花に先がけて春物衣料が各産地からドツサリ入荷いたし店内に陳列を完了しました、どうぞ御高覧下さい

株式会社 前田呉服店
初夏の新しいブラウス 百選会
婦人ワンピース新型 発表会
婦人ババリコートオール陳列会
あわせて御高覧頂ければ幸いです
足寄駅前 電話22番

上野カメラ堂
カメラ
ハミリ
写真材料
上野復興
足寄駅通り T四二〇

不動産についての御相談は
調査、売買、あつせん、管理、分譲
代行、登記、損害保険代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26号
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T三四五

近代住宅に新建材!
家具 建具 製造 各種サツシ施工
各種建築資材
新築 改築に御相談下さい!
桜井建具店
足寄町北五区 電話362番

技術に生きる!
テレビ
ラジオ
ステレオ
レコード
世界のビクター
あらゆる電気器具
有限会社 ミネ・デンキ
足寄劇場前 電話142番